

令和2年9月更新



ねりまのエコ編



ねり☆エコ

Q1

練馬区で、二酸化炭素（CO₂）を一番多く出している場所はどこ？

正しいと思うものを1つ選んで、「答え」の枠に記入してください

- ① 工場
- ② お店や会社
- ③ 家庭

答 え

正解・解説は7ページ →

Q2

練馬区で毎年行われている「エコライフチェック」で、参加された方が減らした二酸化炭素（CO₂）の量はどのくらい？

正しいと思うものを1つ選んで、「答え」の枠に記入してください

- ① 約 1.5 t
- ② 約 2.5 t
- ③ 約 5.2 t

答 え

正解・解説は8ページ →

Q3

練馬区から排出されている二酸化炭素（CO₂）の量は、2013年と2017年を比べるとどうなった？

正しいと思うものを1つ選んで、「答え」の枠に記入してください

- ① 13%増えた
- ② あまり変わらない
- ③ 13%減った

答 え

正解・解説は 9 ページ →

Q4

走るときに二酸化炭素（CO₂）を出さない自動車として期待されている燃料電池自動車ですが、燃料はどこで入れているの？

正しいと思うものを1つ選んで、「答え」の枠に記入してください

- ① 水素ステーション
- ② ガソリンスタンド
- ③ 電気屋さん

答 え

正解・解説は 10 ページ →

Q5

練馬区民が1人1日あたりに出す「ごみ」の量は？

正しいと思うものを1つ選んで、「答え」の枠に記入してください

- ① 約 500g 弱
- ② 約 1kg 弱
- ③ 約 3kg 弱

答 え

正解・解説は 11 ページ →

Q6

練馬区から出される可燃ごみの中で、分別されずに捨てられているリサイクル可能なものの割合は？

正しいと思うものを1つ選んで、「答え」の枠に記入してください

- ① 約 7%
- ② 約 17%
- ③ 約 27%

答 え

正解・解説は 12 ページ →

Q7

練馬区が回収している資源（集団回収を除く）のうち、その量が最も多い品目はなに？

正しいと思うものを1つ選んで、「答え」の枠に記入してください

- ① 古紙
- ② 容器包装プラスチック
- ③ ワンウェイびん

答 え

正解・解説は 13 ページ →

Q8

公園や畑が多いイメージの練馬区ですが、区の面積（約48km²）の中にあるみどりの割合（緑被率）は？

正しいと思うものを1つ選んで、「答え」の枠に記入してください

- ① 約 14%
- ② 約 24%
- ③ 約 34%

答 え

正解・解説は 14 ページ →

Q9

夏の暑いときに、日当たりの良い窓の外側をつる性の植物でカーテンのように覆うと、建物や室温の上昇を抑えることができます。練馬区では「みどりのカーテン」と呼んで区民の皆さんへ紹介しています。毎年夏に、練馬区役所の建物でみどりのカーテンとして使っている植物のうち、みどりの大きな実がなるのはどれ？

正しいと思うものを1つ選んで、「答え」の枠に記入してください

- ① タンポポ
- ② ヒマワリ
- ③ ヘチマ

答 え

正解・解説は 15 ページ →

Q10

毎年10月に、練馬まつり等とともに開かれるエコなイベントの名前は？

正しいと思うものを1つ選んで、「答え」の枠に記入してください

- ① ねりまエコエコまつり
- ② ねりま環境守るぞまつり
- ③ ねりまエコスタイルフェア

答 え

正解・解説は 16 ページ →

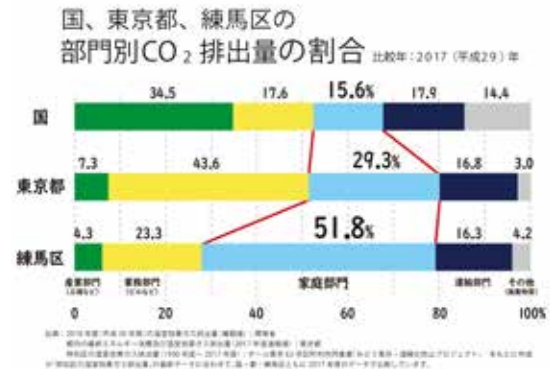
Q1

練馬区で、二酸化炭素（CO₂）を一番多く出している場所はどこ？

正解は ③ 家庭

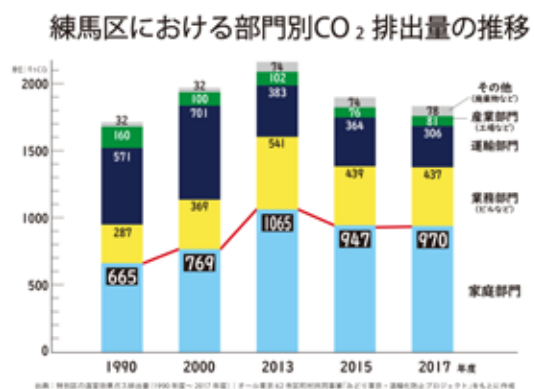
解説

〈図1〉は、産業・業務・家庭・運輸の4つの部門で二酸化炭素の排出量を比べています。東京都は、お店・会社など（業務部門）から二酸化炭素が一番多く出しています。しかし、練馬区は工場や商業施設よりも住宅が多いため、家庭から出たものが半分以上を占めています。



〈図1〉

〈図2〉は、練馬区における二酸化炭素排出量の動きを表しています。2013年をピークに全部門で減っていますが、家庭部門の減った率は他の部門と比べて停滞気味です。家庭での二酸化炭素を減らす取り組みが練馬区の温暖化を防ぐ鍵になっています。



〈図2〉

Q2

練馬区で毎年行われている「エコライフチェック」で、参加された方が減らした二酸化炭素（CO₂）の量はどのくらい？

正解は ② 約 2.5 t

解説

エコライフチェックとは、練馬区が毎年10月に実施している日常生活における二酸化炭素の排出を減らすための取り組みで、区内の小中学生やその家族をはじめ、区内の会社など、多くの方に取り組んでいただきました。

1人でも多くの人にエコライフを気にしてもらえると、この数字がもっと大きくなって温室効果ガスを減らすことにつながっていきます。

令和元年度 参加者数：40,601人／参加事業所：19か所

出典：練馬区ホームページ エコライフチェックの結果の概要について
(https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/kankyogakushu/ecolifecheck/ecolife_matome.html)
令和元年度エコライフチェックの結果
(https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/kankyogakushu/ecolifecheck/ELC_R1_01.html)



Q3

練馬区から排出されている二酸化炭素（CO₂）の量は、2013年と2017年を比べるとどうなった？

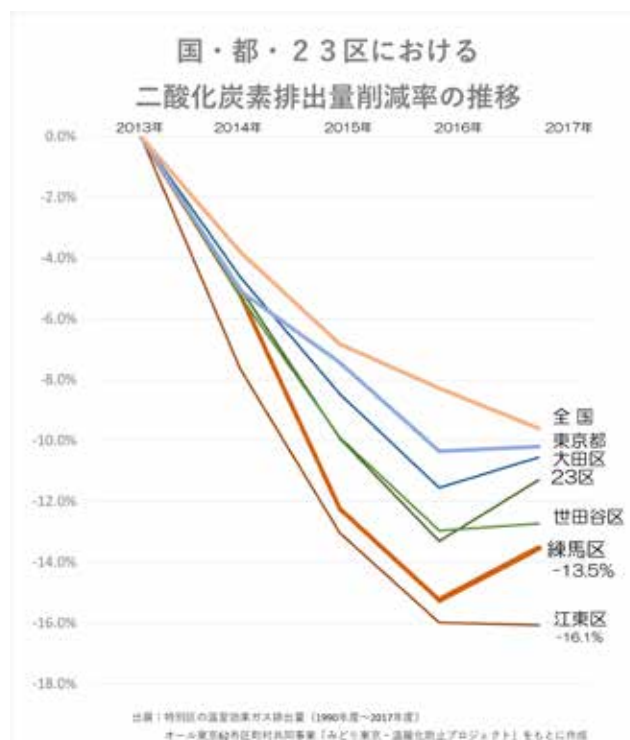
正解は ③ 13%減った

解説

〈図1〉は、二酸化炭素排出量の推移を、全国、東京都、23区平均、練馬区、他の3つの区で比較しています。

練馬区は、2013年から2017年の二酸化炭素排出量削減率が13.5%でした。

練馬区は2030年度に、温室効果ガス排出量を2013年度に比べて26%削減する中期目標に取り組んでいます。もっと減らさないと、目標まで届かない！



〈図1〉

Q4

走るときに二酸化炭素（CO₂）を出さない自動車として期待されている燃料電池自動車ですが、燃料はどこで入れているの？

正解は ① 水素ステーション

解説

燃料電池自動車は、水素を使って電気を作り、その電気でモーターを回転させて走ります。練馬区では、2014年に谷原一丁目に作られた関東初の商用水素ステーション（天然ガスと水素の両方が入れられるステーションとしては日本初！）で水素をチャージすることができます。

燃料電池自動車は、停電の時には電気自動車と同じように、家庭に電気を送ることができるため、災害時の活用も期待されています。

参照：練馬水素ステーション（東京ガスのページ）
(https://eee.tokyo-gas.co.jp/product/hydrogen/es_state.html)

練馬区が所有する水素で走る燃料電池自動車



ホンダ クラリティ © 練馬区

Q5

練馬区民が1人1日あたりに出す「ごみ」の量は？

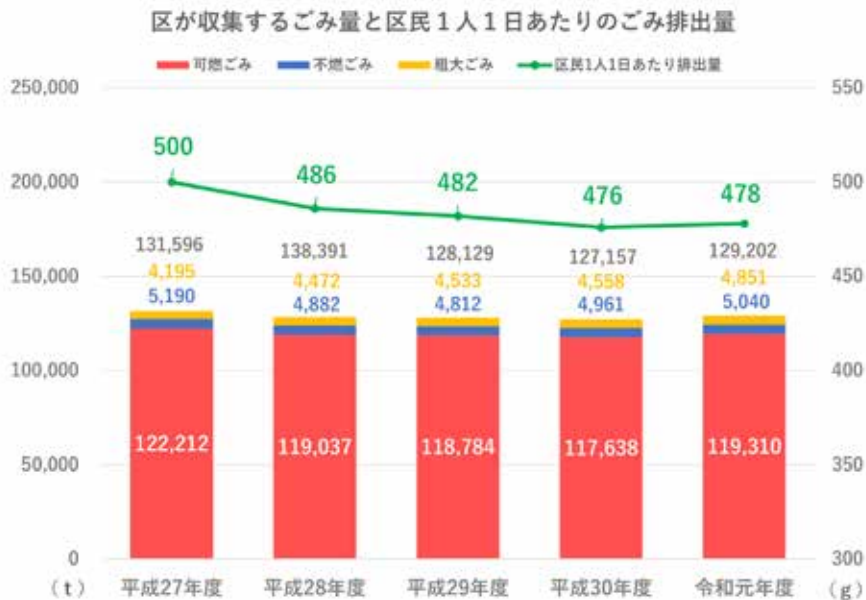
正解は ① 約 500g 弱

解説

練馬区が1年間に収集したごみの量は、約129,000トン（令和元年度）。

その9割以上が可燃ごみです。

必要以上に物を買うのをやめたり、過剰な包装をやめ、ごみを減らしていくことで、焼却時に出る二酸化炭素を減らし地球温暖化を防ぐことができます。



出典：ねりまのかんきょう（令和元年度報告）第3章 循環型社会をつくる
<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/keikaku/hokoku/kankyo/hozen/nerikan01.files/301.pdf>

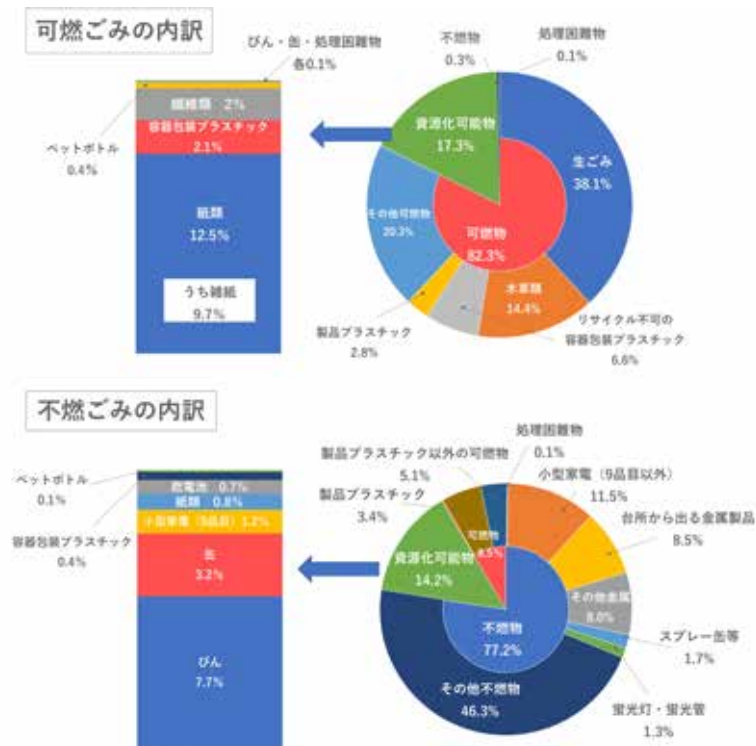
Q6

練馬区から出される可燃ごみの中で、分別されずに捨てられているリサイクル可能なものの割合は？

正解は ② 約 17%

解説

練馬区から出される可燃ごみの中には、17.3%の割合で紙類、容器包装プラスチック、繊維類、ペットボトルなどのリサイクル可能な資源が含まれています。また、不燃ごみの中にもびん、缶、乾電池、小型家電などのリサイクル可能な資源が14.2%含まれています。ごみと資源がきちんと分別されることで、練馬区のごみが減って、資源のリサイクルがさらに進みます。



出典：ねりまのかんきょう（令和元年度）第3章 循環型社会をつくる
<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/keikaku/hokoku/kankyo/hozen/nerikan01.files/301.pdf>

Q7

練馬区が回収している資源（集団回収を除く）のうち、その量が最も多い品目はなに？

正解は ① 古紙

解説

練馬区で令和元年度に回収された資源（集団回収を除く）の内訳は以下のとおり。〈図1〉

古紙が14,168 tで全体の約47%を占めています。次に多かったのが容器包装プラスチックの5,192 t。3位がワンウェイびん（びんのまま再利用されないもの）の4,561 tでした。

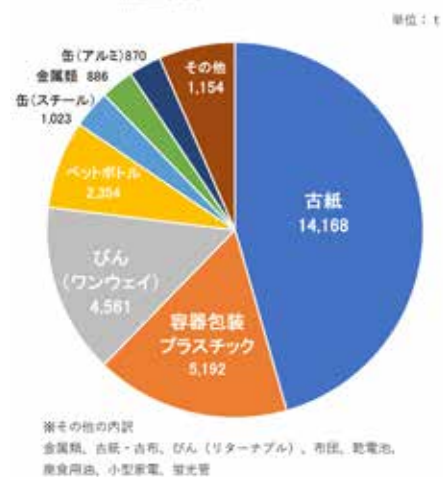
また、練馬区では区に登録した町会・自治会・子ども会など、区民の自主的な団体が資源回収業者と協力して古紙や古着・古布、缶などのリサイクルに取り組む「集団回収」を実施しています。

令和元年度は654団体から9,971 tの資源が回収されました。これは、区全体での資源回収量（40,179 t）の約25%を占めています。〈図2〉

区は、登録団体から資源回収の実績報告を受け、回収量1 kgあたり6円の報奨金を支給しています。また、平成29年7月から区内登録事業者と契約して資源回収を行った団体に対し、回収量の1割分の加算金を支給しています。このほか、軍手や梱包ひもなどの支給や資源回収業者の案内を行っています。

出典：ねりまのかんきょう（令和元年度報告）第3章 循環型社会を作る
<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/keikaku/hokoku/kankyo/hozen/nerikan01.files/301.pdf>

図1 練馬区で回収された資源（令和元年度）
 集団回収を除く



〈図1〉

図2 資源回収量の推移（過去5年間）



〈図2〉

Q8

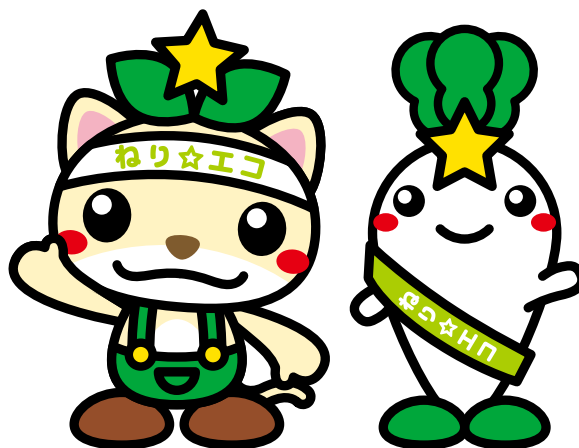
公園や畑が多いイメージの練馬区ですが、区の面積（約 48km²）の中にあるみどりの割合（緑被率）は？

正解は ② 約 24%

解説

平成 28 年度に実施した調査による練馬区の緑被率は 24.1%。区の面積の約 1/4 がみどりに覆われているという事になります。特徴として、区内のみどりのうち 3/4 が民有地（個人や会社の土地）であることが挙げられます。公共のみどりは増加傾向（50 年前に比べ、区内の公園面積は約 5.4 倍！区民一人あたりの公園面積は約 4 倍！）にありますが、民有地のみどりの減少率のほうが高く、全体として面積が減ってきています。将来に向けた保全の取り組みが求められています。

出典：練馬区統計書 令和元年度版 12 土木施設・みどり
(<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/tokei/tokeisho/toukeisyo2019.files/hyo12.pdf>)



Q9

夏の暑いときに、日当たりの良い窓の外側をつる性の植物でカーテンのように覆うと、建物や室温の上昇を抑えることができます。練馬区では「みどりのカーテン」と呼んで区民の皆さんへ紹介しています。

毎年夏に、練馬区役所の建物でみどりのカーテンとして使っている植物のうち、みどりの大きな実がなるのはどれ？

正解は ③ ヘチマ

解説

みどりのカーテンを育てると、植物が建物への日差しをさえぎったり、葉から出る水蒸気で涼しい風を室内に呼び込むことで、夏の冷房使用時に電気消費量を2～3割削減できる効果があると言われています。

令和元年、練馬区役所の西側にヘチマ・ゴーヤー・アサガオを混ぜて植え、壁にそってつるを這わせました。9月30日には100個以上のへちまを収穫し、練馬庁舎の1階で区民に無料配布しました。また、一部は区立こどもの森で活用しました。

出典：練馬区役所ホームページ みどりのカーテン
(<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kurashi/shigoto/midori/curtain/index.html>)



Q10

毎年 10 月に、練馬まつり等とともに開かれるエコなイベントの名前は？

正解は ③ ねりまエコスタイルフェア

解説

平成 23 年から、練馬まつりなどと同時開催で「ねりまエコスタイルフェア」を開催しています。令和元年で 9 回目をかぞえるイベントに成長しました。

節電、省エネ、省資源につながる展示・発表などを通じて「環境に配慮したライフスタイル」を推進しており、令和元年度は 25 団体がブースを出展しました。

※令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。



ねり☆エコホームページ（第 9 回のレポート）より
(<https://www.nerieco.com/project/ecostylefair/2019/repo.html>)